

市島春城と画人たちとのかかわり

-印章コレクションから-

早稲田大学會津八一記念博物館 富岡重憲コレクション展示室
会期:2014年9月29日(月)~11月15日(土)

休館:日曜・祝日・10月31日(金)

ただし10月13日(祝)・11月3日(祝)は開館、10月19日(日)・11月2日(日)は16時まで開館

No.	作品名(印文)	使用者	刻者	印材・鈕の形	寸法(縦×横、高cm)	制作年代	側款・頂款 *備考	目録番号
1	滄浪		伝高芙蓉	石	2.3×2.3 高2.5			巻-10
2	鶴鳴于九臯		高芙蓉	石	3.5×1.6 高2.6	江戸時代	頂款「五峰先生近有印癖余乃贈所藏印三枚勝以詩各一章用五六七言體 三浦春」 側款「有似九臯鶴聞天聲本清憑君且珍重不滅印人名 高芙蓉所刻文曰雀鳴于九臯/印聖手刻吾家舊物今贈/五峰詞宗贈以一詩即政桐陰三浦春 初艸 余客秋遊于越之舟江觀此印於間放樓今歸五峰詞宗/丁未四月初吉勒于墨東藏六居濱邨袞」	巻-17
3	徳柄之印・大謙	佐藤南澗	高芙蓉	石/両面印	[白文]3.7×3.7 高4.9 [朱文]3.8×3.7	天明2年(1785)	側款「壬寅秋日友人滕大謙使余詔介而請芙蓉先生之篆刻々成焉嗚呼先生於印章偃倡輪斲得手應心之妙海内無兩實可謂藝苑之美觀也 先生既為異物於是人益十襲之趙璧不啻也余與先生同鄉且從遊之日久矣因記其由諗覽者 天明乙巳年秋七月 門人甲斐天目源益之謹識」	式-4
4	弍川平野数椽茅屋疎籬下蓬々菊虚簷外蕭々竹可避世間榮辱		高芙蓉	石	4.5×1.7 高1.7		側款「芙蓉刀」	式-17
5	讀画似看山		高芙蓉	石・獅子鈕	2.1×2.1 高3.3	安永元年(1772)	側款「壬辰冬芙蓉刀」	巻-135
6	西灣釣叟		伝高芙蓉	石	径2.9 高2.7			九-60
7	池田氏	池田孤邨	海保醉茗	石	2.6×2.6 高3.7	江戸時代	側款「醉茗刻」	巻-41
8	藤原式信	池田孤邨		石	3.0×2.9 高2.2	江戸時代		巻-182
9	式信	池田孤邨		石	2.2×2.1 高2.6	江戸時代		巻-245
10	三信	池田孤邨		石	0.7×0.8 高2.2	江戸時代		四-26
11	三信印	池田孤邨		石	3.1×3.3 高2.1	江戸時代		巻-243
12	孤邨・式信	池田孤邨	濱村蔵六(四世)	石/両面印	[朱文]0.9×0.9 高3.0 [白文]0.9×0.9	江戸時代	側款「蔵六」	四-43
13	孤邨	池田孤邨		石	2.4×2.4 高4.4	江戸時代		巻-236
14	孤村	池田孤邨	海保醉茗	石	1.9×1.2 高2.3	天保8年(1837)	側款「保西梅月醉茗作」	参-68
15	煉心窟	池田孤邨	益田香遠	石	1.4×1.4 高3.1	江戸時代	側款「香遠刻」	参-85
16	煉心窟	池田孤邨		木	径5.9 高2.8	江戸時代		参-22
17	三信	池田孤邨		木	径5.8 高3.5	江戸時代		参-21
18	舊松道人	池田孤邨	益田香遠	石	1.4×1.4 高3.1	元治元年(1864)	側款「甲子初春香遠篆」	巻-177
19	久松主人	池田孤邨	濱村蔵六(四世)	石	0.9×0.9 高2.9	江戸時代	側款「蔵六澣刀」	四-30
20	茶画三昧菴主	池田孤邨	海保醉茗	鑄銅印・蓮葉鈕	3.0×3.4 高4.8	嘉永3年(1850)	側款(右上) 「峇嘉戌至前/代大黒主人/六十四老人皎茗阮交/爲孤邨画伯清玩」	巻-191
21	茶畫三昧	池田孤邨	益田遇所	石・山水薄意	2.1×2.1 高5.4	江戸時代	袴墨書「益田遇所凝」	巻-57
22	一闋新歌声漱玉採蓮人在緑陽津	池田孤邨	海保醉茗	石	1.3×2.4 高2.8	嘉永2年(1849)	側款「蘇小妹採蓮疊字詩 六十三翁 醉茗録」	参-47
23	長祚	浅野梅堂		石	2.5×2.4 高2.1	江戸~明治時代		巻-58
24	長祚	浅野梅堂	頼立斎	石	1.6×1.1 高2.4	江戸~明治時代	側款「立斎刻」	巻-64
25	長祚	浅野梅堂	福井端隱	石	0.8×0.6 高1.6	江戸~明治時代	側款「端隱」	四-70
26	胤卿氏・臣長祚印	浅野梅堂		石/両面印	[白文]2.2×2.2 高3.0 [朱文]2.2×2.2	江戸~明治時代		巻-77
27	梅堂	浅野梅堂		石	径2.1(材径2.2) 高3.0	江戸~明治時代		巻-180
28	梅/堂・月香樓	浅野梅堂		石/連印/両面印	[朱文]2.0×1.0 高2.2 [白文]2.0×1.0	江戸~明治時代		四-34
29	某堂/胤卿	浅野梅堂		石/連印	2.7×1.2 高1.9	江戸~明治時代		巻-68
30	長祚圖書	浅野梅堂		石・獅子鈕	3.1×3.2 高8.3	江戸~明治時代		巻-27
31	筆秃千管墨磨萬錠不作張芝作素靖	浅野梅堂		石	5.9×3.5 高4.9	江戸~明治時代		六-6
32	浅野源氏五萬卷樓圖書之記	浅野梅堂		石	3.3×3.0 高2.8	江戸~明治時代		巻-47
33	開卷有得	浅野梅堂		石・梅枝薄意	1.8×1.5 高1.2	江戸~明治時代	梅堂用印カ	巻-73

No.	作品名(印文)	使用者・作者	刻者	印材・鈕の形・材質	寸法(縦×横、高cm)	制作年代	側款・頂款 *備考	総目録 番号
34	嵩谷印	高嵩谷		石	6.4×6.1 高3.2	江戸時代	袴側面墨書「嵩谷印」	巻-145
35	嵩谷印	高嵩谷		石	1.3×1.2 高2.2	江戸時代	四-37と対	式-20
36	規矩	高嵩谷		石	1.4×1.4 高1.3	江戸時代	式-20と対	四-37
37	嵩谷印・子盈	高嵩谷		石／両面印	[白文]3.4×2.3 高2.9 [朱文]3.4×2.3	江戸時代		参-54
38	子盈	高嵩谷		石	2.9×2.7 高0.7	江戸時代		巻-78
39	樂只齋	高嵩谷		石	4.0×2.0 高1.9	江戸時代	袴側面墨書「樂只齋」	巻-250
40	易簡能知・樂只齋	高嵩谷		石／両面印	[上]2.1×2.0 高4.5 [下]2.2×2.0	江戸時代		巻-252
41	樂只齋・雲比石面且衣冠	高嵩谷		石／両面印	[白文]2.4×2.3 高2.4 [朱文]2.4×2.3	江戸時代		巻-128
42	屠龍・微笑園印	高嵩谷		石／両面印	[白文]2.7×2.6 高2.4 [朱文]2.7×2.6	江戸時代	袴側面墨書「屠龍」	巻-253
43	高崧谷印・易簡能知	高嵩谷		石／両面印	[白文]2.7×2.5 高4.4 [朱文]2.7×2.6	江戸時代	紙袴墨書「易簡能知／高嵩谷印」	巻-186
44	萬物一馬		池大雅	石	3.5×3.5 高3.3	江戸時代	側款「無名」 箱蓋表墨書「大雅堂自鑄石印二顆 暗香疎影 萬物一馬 各白文」 箱裏墨書「這箇二顆姫藩元老寸翁河合君珎玩久焉予/從幼深蒙眷顧天保年間以予有墨池癖賜之/驚喜拊舞十襲貴重終爲文房中之至寶/永岡成之兄予莫逆之友也懇求不已割愛爲/貽抑大雅翁稀世逸士寸翁君大藩明宰奇士所/鑄良臣所賜豈可不嘉賞者哉臨貽漫添贅詞/聊爲二顆寫別情耳 元治甲子孟夏在俗沙門月舟西思順識「印」」	式-42
45	疎影暗香		池大雅	石	2.9×2.7 高2.5	江戸時代	側款「無名」 式-42と一箱に	式-43
46	家傍青山竹徑開		池大雅	石	3.0×2.8 高4.5	江戸時代	側款「霞樵者」	式-8
47	南湖	春木南湖		石	径6.0 高0.9	江戸時代	石印材二枚を貼る	巻-42
48	南湖	春木南湖		木	2.2×2.3 高4.9	江戸時代		巻-164
49	靄崖	高久靄崖		石	2.0×2.1 高3.2	江戸時代		巻-34
50	不可刻齋・疏林	高久靄崖		竹／両面印	[上]1.8(最大径) 高4.0 [下]1.8(最大径)	江戸時代		巻-101
51	玉禪室	山本梅逸	細川林谷	石	8.1×4.8 高2.9(0.8で石を継ぐ)	江戸時代		式-1
52	暁齋	河鍋暁齋		石	7.1×5.6 高3.6	江戸～明治時代		六-2
53	少年習作	川村清雄		カンバス・油彩	17.5×11.7(最大)	明治9～14年頃 (1876～1881)	当館寄託	
54	絵筆のあと	川村清雄		紙・石版画	33.5×22.7	大正2年(1913)	当館寄託	
55	ヴェニス風景	川村清雄		カンバス・油彩	60.5×122.5	明治時代	個人蔵	
56	ヴェニス風景	川村清雄		カンバス・油彩	60.0×119.0	明治20～30年代	新発田市所蔵	

※ 2階常設展示室に《菩薩立像》(クシャーナ朝)、1階ホールに澤田政廣《太陽に向いて》が展示されています。

次回展覧会のご案内
富岡コレクションの近代美術 2014年11月25日(火)～2015年1月31日(土)